

3つのポリシー(英語キャリア学部英語キャリア学科小学校教員コース)

建学の理念	「公正な世界観にもとづき時代と社会の要請に応えていく実学」の教授研究を通して、「国際社会に貢献できる豊かな教養を備えた人材」を育成します。
大学の教育理念・方針	・言語を「コミュニケーション・ツール」として位置づけ、より実践的な言語教育を行います。 ・他国の言語・文化を修得・理解するレベルにとどまらず、日本語・日本文化の礎を踏まえ、自らの考えを自由に発信できるより高度で創造的なレベルでの言語運用能力の修得をめざします。 ・言語教育にとどまらず、平和な国際社会の構築に貢献しうる人材として必要な「国際学」「外国学」に関する国際教育に力を注ぎ、豊かな人間性に裏付けられたコミュニケーション力を培うための教養教育を重視します。
学部(学科)の人材養成自的	(英語キャリア学部) 高度なコミュニケーションを可能とする英語力と、国際理解力と多文化共生力を基盤とし、併せて幅広い教養や豊かな人格形成等からなる英語キャリア基礎力を養成することにより、多文化共生社会においてリーダーシップを発揮する高度国際職業人につながる人材の育成を目的とします。 (英語キャリア学科小学校教員コース) 教育に対する強い情熱・使命感を持ち、小学校教育に関する全領域にわたる優れた実践的指導能力を身につけ、コミュニケーションを可能とする英語力と、国際理解力と多文化共生力を有した高度国際職業人につながる人材の育成を目的とします。
学位授与の方針(DP)	本コースの人材養成目的を達成するため、次に掲げる知識・技能などを身につけ、小学校教員免許状を取得した者に、「学士(教育)」の学位を授与します。 1. 教育に対する強い情熱・使命感を持ち、小学校教育において優れた指導力を発揮できるようになる。 2. 教科指導、生活指導、教科外活動などの学校教育活動を推進できるようになる。 3. コミュニケーション力、国際理解力、多文化共生力を身につけ、小学校英語の実践において指導的な役割を演じることができるようになる。
教育課程の編成・実施の方針(CP)	〔教育課程の編成にかかる基本方針〕 本コースでは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・技能などを修得させるために、専門教育科目（専門複合科目、専門研究科目、専門初等教育科目）、全学共通教育科目を体系的に編成し、開講します。 ・子どもの生きる力を育むことを主たる目的として、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動をはじめとする小学校教育における全領域にわたる専門知識と実践的指導力の養成をめざします。 ・教育に対する強い情熱や使命感を持ち、実践的指導力を有する人材を育成するため、学校現場体験やボランティア活動を積極的に取り入れます。 ・専門教育科目において、英語学・文学等に関する科目とともに文化・歴史・社会等に関する科目をここに位置づけ、これらの科目について一定程度の深い専門性を加えた内容を学習することによって、いわゆる「外国学」を広く修得することとし、全学共通教育科目を含めた教育課程全体で「幅広い教養と豊かな人格形成」をめざします。 1. 教育内容について （１）専門教育科目の「教職専門科目群」「初等教科専門科目群」「初等教科教育法科目群」「初等教育学科目群」にて、小学校教育における全領域にわたる専門知識と実践的指導力など教育力の修得をめざします。 （２）専門教育科目の「英語コミュニケーション科目群」「言語教育科目群」「多文化共生理解科目群」「関西外大流グローバル人材育成プログラム」にて、小学校の英語教育に必要な英語力や国際理解力や幅広い教養などの修得をめざします。 （３）全学共通教育科目では、幅広い教養と就業体験などを通してキャリア形成の修得をめざします。 2. 教育方法について （１）１年次・２年次の専門複合科目である英語科目(English Intensive Program)にて、本格的な英語力を身につけるため Content-based Approach（内容重視の外国語教育法）を用いて授業を行います。 （２）教育実践感覚などを養成するため、１年次から小学校などの教育現場での体験、小・中・高校などでボランティアとして教育活動に携わるプログラムを実施します。 （３）小学校教育に必要な全領域の実践的指導力を養成するため、少人数教育を実施します。 （４）主体的に学ぶ力を高めるため、ディスカッション、プレゼンテーション、グループワークなどの教育方法を活用したアクティブ・ラーニング型授業を実施します。 （５）担当教員をクラス・アドバイザーとして各年次に割り当て、学生の学修、教職に向けての支援ならびに指導を行います。 3. 学修成果の評価について 学修成果の評価は、単位修得の確認、教員免許状の取得状況などにより行います。 （１）修得科目、教育実習などの学びの履歴、およびクラス・アドバイザーによる面談記録など４年間の学修記録としてのポートフォリオを活用し、学修成果の到達度をディプロマ・ポリシーに照らし総合的に評価します。 （２）小学校教員としての資格である「小学校教諭一種免許状」の取得を卒業要件の一つとして課します。

3つのポリシー(英語キャリア学部英語キャリア学科小学校教員コース)

入学者受入れの方針(AP)	本コースの教育上の目的として定める人材を育成するため、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを踏まえ、「求める人材像」を次のとおり定め、高等学校での学習を通しての基礎的な知識として、英語力を中心とする基礎学力などをもとに選抜を行い、入学者を受け入れます。 1. 求める人材像について 高等学校までの履修内容を通して、論理的に自分の意見を発信でき、とりわけ「英語」の学習において、「聞く・話す・読む・書く」の4技能の基礎的な内容を身につけた上で、 (1) 高等学校での学習・活動を通しての基礎的な知識・技能や目的意識・意欲のある人 (2) 教育に対する情熱・使命感を持ち、小学校教育に関する実践的指導力を身につけ、小学校教員をめざす強い意志のある人 (3) 英語をはじめ、グローバル社会、多文化共生社会に求められる教育について関心を持つ人 2. 評価方法について 上記のような学生を選抜するため、形態ごとに以下のような試験を行い、本学で学修するための基盤となる学力などについて評価します。 (1) 一般選抜 ア. 一般入試 ① 1科目型： 個別学力検査（外国語）により評価します。〔後期〕 ② 2科目型： 個別学力検査（外国語、国語）により評価します。〔前期： A方式〕 ③ 3科目型： 個別学力検査（外国語）と大学入学共通テスト（国語、選択科目）により評価します。〔前期： 共通テストプラス方式〕 イ. 大学入学共通テスト利用入試 ① 3科目型： 大学入学共通テスト（英語、国語、選択科目の3科目）の得点により評価します。〔前期/後期〕 ② 5科目型： 大学入学共通テスト（英語、国語、地理歴史・公民、数学、理科の5科目）の得点により評価します。〔前期〕 (2) 学校推薦型選抜 ア. 公募制推薦入試 基礎学力検査として英語を課し、調査書等、学校長推薦書を総合して評価します。
---------------	--

2017年4月1日施行(2017年3月11日制定)

2018年4月1日施行(2018年2月26日改定)

2018年9月1日施行(2018年10月19日改定)

2020年4月1日施行(2020年3月7日改定)

2024年4月1日施行(2024年3月1日改定)